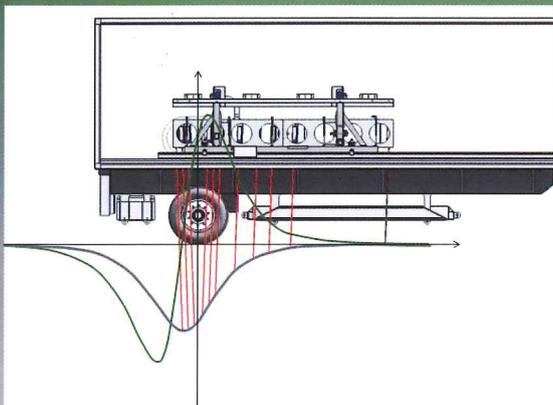


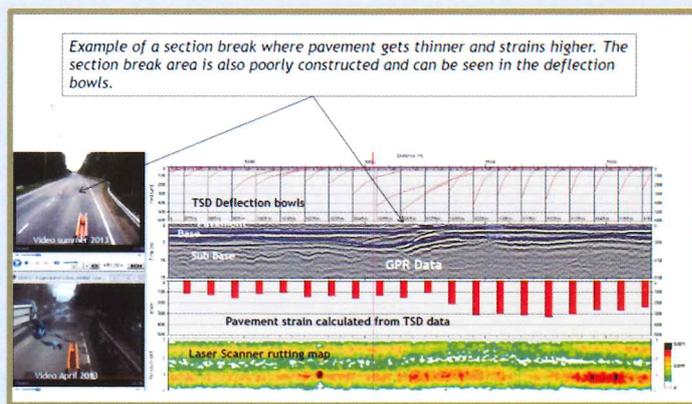
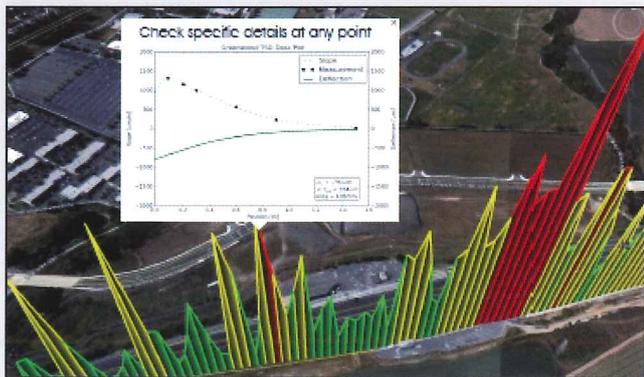
たわみ試験の革命、FWDからTSDの時代に！ TSD: 連続走行たわみ試験装置



TSD(Traffic Speed Deflectometer: GREENWOOD ENGINEERING) は、レーザードプラー法による非接触型の連続走行たわみ試験装置です。従来のFWDに代わる革新的技術で、欧米で既に多くの使用実績を有しています。

TSDとIRIやGPR(3d-RADAR)の併用で、次世代型の統合型路面性状管理システムの構築も可能です。

Display your GREENWOOD TSD data in Google Earth



=TSDの特徴およびメリット=

- ・実際の走行車両の軸重負荷による真の動的たわみを測定
- ・測定時走行車速: 30 ~ 80 km/h
- ・サンプリングレート: 1kHz (70km/h で測定間隔は20mm)
- ・交通規制をかけずに長距離測定可能
- ・たわみネットワークの可視化
- ・IRIやGPR(3d-RADAR)との併用で路面性状の統合管理可能